

金融機関の防犯訓練

12月3日、十八銀行比田勝支店で、閉店間際の銀行に強盗が侵入するという想定で、金融防犯協会に加盟する金融機関の関係者が見守る中、防犯訓練が実施されました。

全国的に強盗事件が発生しやすくなる年末、防犯意識の向上と、事件発生を抑止する目的で毎年行われています。



訓練後、検査役の署員から、強盗が入った時の銀行員の対応などについて指導があり、犯人の情報を的確に伝えられたか、防犯ブザーは的確に押すことができたかなどの確認が行われました。

対馬北警察署では、今後も金融機関への巡回や指導、研修会を通じて、防犯意識の向上とPRによる抑止活動を積極的に行っていく予定です。



対馬縦断駅伝

12月6日、6町の体育協会、自衛隊や高校など14チームが参加して、今年で49回目となる対馬縦断駅伝大会が行われました。

上対馬町比田勝港から厳原町の厳原港までの90.1kmを13人のランナーが走り1区～4区、10区～13区を男子の部、5区～9区を女子の部として健脚を競いました。

結果 団体の部.....優勝：陸上自衛隊A（4時間16分49秒）
町体協の部...優勝：豊玉町（4時間50分59秒）
女子の部.....優勝：厳原町（45分23秒）



福祉のまちづくりこどもセミナー



12月12日、豊玉町の対馬市公会堂で対馬市社会福祉協議会主催によるふれあい学習推進事業「福祉のまちづくりこどもセミナー」が開催されました。

豊玉町内の小中学生・高校生がそれぞれ自分たちの考えや取り組みを発表。豊玉小学校5年松村優香さんは「地域の方々と協力しちょボラ（ちょこっとボランティア）をしたい」、大人に対しては「ポイ捨てしないでほしい」と発表しました。また、加志々中学校が、漂流漂着ゴミを題材としたポイ捨て禁止ポスター制作などの取り組み事例を紹介しました。

出席した地域の方々からは、「子どもたちの話を聞いて、大人が変わらなければいけないと感じました」などと感想が寄せられました。

防犯武道大会

12月13日、峰町のシャインドームみねで、武道を通じて子ども達に強い心を育んでもらい、防犯意識の向上を図りたいと対馬市防犯協会連合会が対馬市防犯少年武道大会を開催しました。

市内の剣道・柔道のクラブ、合わせて24チームが参加して行われ、幼児から高校生までが出場し、午前中に団体戦、午後からは個人戦が行われ日頃の練習の成果を発揮しました。



軽トラック市

12月5日、美津島町のグリーンピア対馬で、市内各所の認定農業者等が軽トラックなどで集まり、収穫した米や野菜等を販売する「対馬軽トラック市」が開催されました。

地産地消拡大を目指し、市内62名の認定農業者のうち今回は30名が出店、通常より安値で販売されており会場は賑わいをみせました。



まぐろ祭り



12月6日、美津島町尾崎で、対馬産養殖本マグロ「トロの華」をPRしようと「トロの華」生産者協業体と美津島町漁協の主催でまぐろ祭りが開催され、多くの来場客で賑わいました。

対馬周辺で釣り上げられた幼魚を2年～3年ほどかけて養殖し、30～40キロになったものを関東を主に、東北や北海道に出荷しています。昨年度の水揚げ高は、およそ1億9千万円で、今年度は、3月末までに4億円以上の売り上げが見込まれています。

この日の目玉「トロの華解体ショー」では、43キロあまりのマグロが手際よくさばかれ、来場者へ振る舞われると「脂がのっていておいしい」などと大好評でした。

人権を考える対馬マンス研修会

12月13日、「人権を考える対馬マンス研修会」が行われ、身近な差別や偏見について考えました。

人権座談会ではいじめなどの問題について意見交換が行われ、人権作文発表では、巖原中学校2年阿比留晃弘くんが「いじめを命の問題と考えなければならない。弱い者いじめをすることは、とても恥ずかしい行為だと思う」など、障害者施設での手伝いを通して感じたことなどを述べました。

また、この日は、松本サリン事件の第1通報者の河野義行さんの「報道と人権」と題した講演会も行われ、さまざまな視点から人権について考える一日となりました。



野球教室



12月13日、美津島グリーンパークで対馬市民球団実行委員会と対馬軟式野球連盟主催で対馬少年野球教室が開催されました。

講師には上対馬町出身で阪急・ダイエー（現福岡ソフトバンクホークス）に在籍していた原田賢治さんと巖原町出身で日本ハムファイターズ（現北海道日本ハムファイターズ）に在籍していた小島善博さん、また現在RKB毎日放送で野球解説を務める加藤伸一さんの3名が招かれました。

この日はあいにくの雨にみまわれ、野球教室途中で美津島町体育館に移動し、午後3時まで野球の基本動作を教わりました。

原田賢治さんは「野球を好きでいてください。対馬から新たなプロ野球選手が出るよう皆さん頑張ってください」と子ども達に声をかけていました。